

■施工される方へのお願い

- 取付け前に必ず本説明書をお読みください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- シャッター本体の脱落や変形による作動不良・雨漏りの原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
 - ・シャッター本体は必ず外壁仕上げ前に直接構造体に取り付けてください。
 - ・本製品は必ず指定のねじで取り付けてください。ねじの固定位置に構造体がない場合、構造体を追加してください。
 - ・ブラケット取付け面が平面であることを確認してください。
 - ・ブラケット取付けの際、ガタがないように確実に固定されていることを確認してください。
 - ・本体が確実にブラケットに掛かっていることを確認してください。
 - ・樹脂カバーが奥まで差し込まれていることを確認してからねじ止めしてください。
 - ・本製品を取り付けた後、シャッター本体と躯体の取り合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(右図参照)
- 雨漏りの原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・シャッター本体を取り付ける前に、サッシ枠回りに防水テープが張ってあることを確認してください。
- 組立て・施工時及びスラットの横ずれを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。

■施工上のお願い

- 本説明書は本体S型で説明していますが、H型・UD型も同じ手順で取り付けてください。
- シャッターを取り付ける前にサッシ枠の水平・垂直および下枠の上下の反りがない事を確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因になりますので、カイモノ等で調整してください。
- 本体取付けフィンの固定の際、天板のへこみがないように水糸等で確認して行ってください。シャッターの作動不良の原因になります。
- 本製品を軒天内部に納める場合、必ず点検口及びガイドレールが外部から取り外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
- 壁仕上げの際、点検口・ガイドレールを塗り込まないでください。メンテナンスができなくなります。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないように指導してください。
- モルタル剥離剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
- サッシ部分の組立て・取付けについては〈サッシ枠〉取付け説明書をご覧ください。

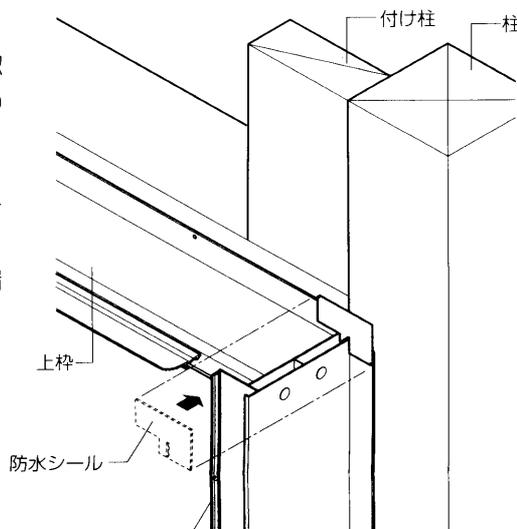
■使用部品・ねじ一覧表

ブラケット (左・右)	皿タッピンねじΦ4×35	スクリュー釘Φ2.1×32	トラスタッピンねじΦ4×8	バインドタッピンねじΦ4×10	防水シール (左・右)
		(本体UD型のみ)	(D8) (本体S型のみ)	(本体S型のみ)	

■取付け順序

1 ブラケットの取付け

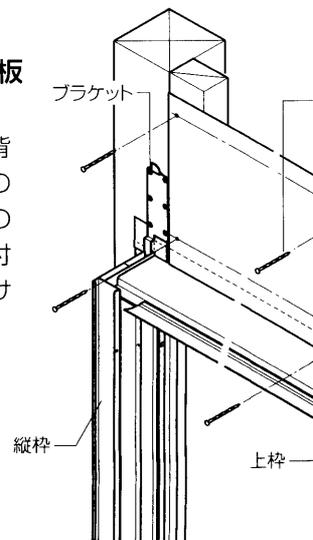
- ※付け柱が取り付けられているか確認してください。付け柱は必ず取り付けてください。詳細は〈サッシ枠〉取り付け説明書をご覧ください。
- ※防水シールは、ブラケット取付け前に必ず張り付けてください。正しく張り付けていないと雨漏りの原因になります。

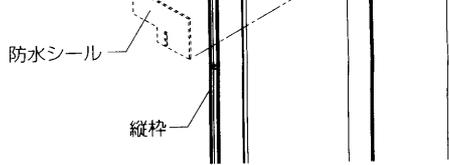


2 本体の取付け

〔本体がUD型の場合、背板の取り付けが必要です〕

- UD型の場合は、同梱の背板を上枠の釘打ちフィンの下に水平面にのせ、左右のブラケットの間に入れ、付け柱、間柱に釘で取り付けます。





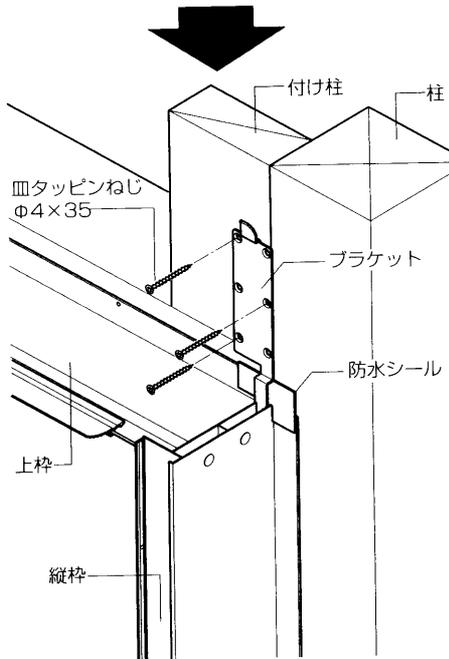
①ブラケットを縦枠にのせ、垂直にし、柱・付け柱にちどりでねじ3本で固定します。(ブラケットは右用、左用があります。)

※ブラケットは必ず垂直に取り付けてください。本体が取付けられなくなったり、作動不良の原因になります。

▲注意

●ブラケット取付けの際、ガタがないように確実に固定されているか、確認してください。本体の脱落・作動不良の原因になります。

●ブラケット取付け面が平面であることを確認してください。平面になっていないところにブラケットを取り付けると、本体が取付けかず雨漏りの原因になります。



※本体を立てたり、斜めにしないでください。スラットが片寄り、作動不良の原因になります。
①本体を躯体に固定してある左右のブラケットに引っ掛け、同時に上下の幅木を閉めます。
※本体を取付ける際、ストッパー(幅木)が上枠の上ののらないように注意してください。

▲注意

- 本体取付けの際は手袋をしてください。素手で行うとケガをすることがあります。
- 本体が確実にブラケットに掛かっているか確認してください。本体が掛かっていないと作動不良の原因になります。
- 樹脂カバーが奥まで差し込まれているか確認してください。きつくないと雨漏りの原因になります。

②縦枠と本体の左右のツラを合わせ、本体とブラケットとの間に隙をなくして固定します。

※本体の取付けフインの固定の際、天板のへこみがないように注意してください。

③樹脂カバー裏面の突起をサイドカバーの穴に合わせ、全てを押し込みます。樹脂カバー裏面を確認した後、躯体側へスライドさせ、ねじ止めします。(樹脂カバー裏面に突起が差し込まれているか確認後ねじ止めしてください。)

(④は本体S型のみ適応します)

④点検口の立上りフインを天板の溝にもくり込ませ、回転させる

3 スラットの横ズレの確認

①幅木の長さの中央を持ち、開口の1/3程度までスラットをゆっくり下げます。横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

▲注意

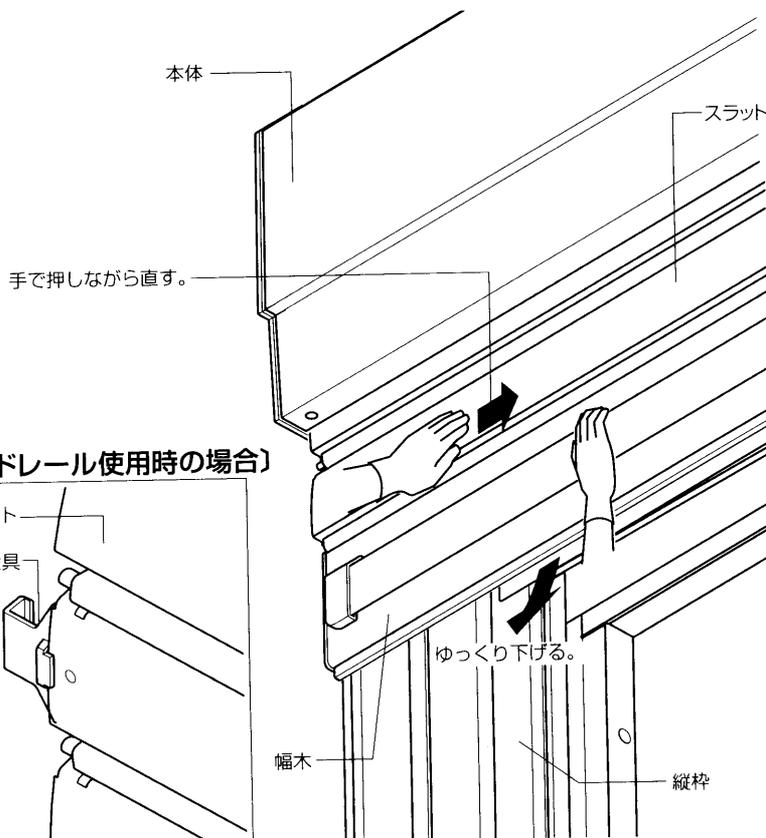
●スラットの横ズレを直す時は、ケガ防止のため、手袋をして行ってください。

※縦枠・本体にスラットが引っかからないように注意してください。

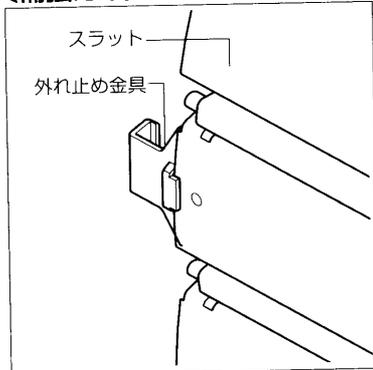
※幅木が本体の中に巻き込まれないように注意してください。

※補強ガイドレール用本体の場合、スラットの両端に金具がついています。金具取付け部分のスラットが曲がっていない事を確認してください。曲がりのある場合は手直ししてください。

②スラットをゆっくり上げます。



〔補強ガイドレール使用時の場合〕



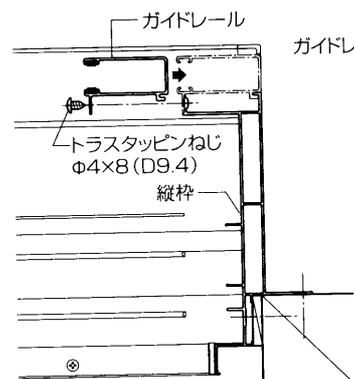
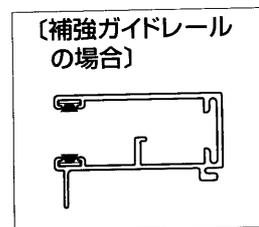
4 ガイドレールの取付け

①幅木を引き下げ、ガイドレールの上端(シールが張ってある側)を上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下の幅木に当たるように調整します。

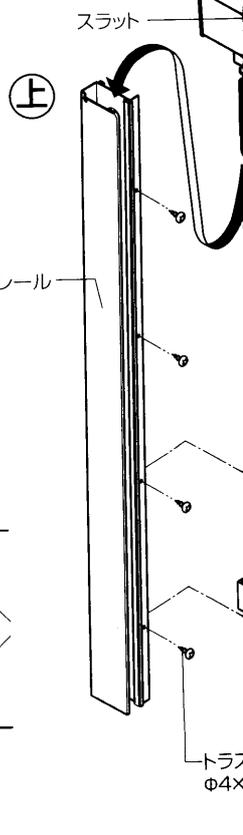
※ストッパー(幅木)が上枠の下にくるようにガイドレールを調整してください。

②ガイドレールをスライドさせ、縦枠にはめ込み、タッピンねじで固定します。
※ガイドレールの種類は普通ガイドレールと補強ガイドレールがあります。確認して取付けてください。

※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っかかり等の支障がある場合は、左記(3)スラットの横ズレの確認)を再度行ってください。



※本図は半外付です。204、外付けも同様です。



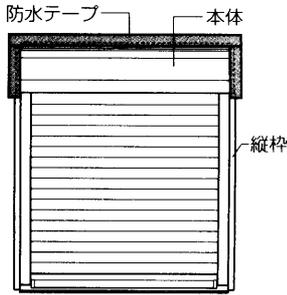
リヤS (半外付型) (204型) (外付型) (単窓) 取付け説明書

構成図

▲注意

本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

(防水テープ張付け位置)



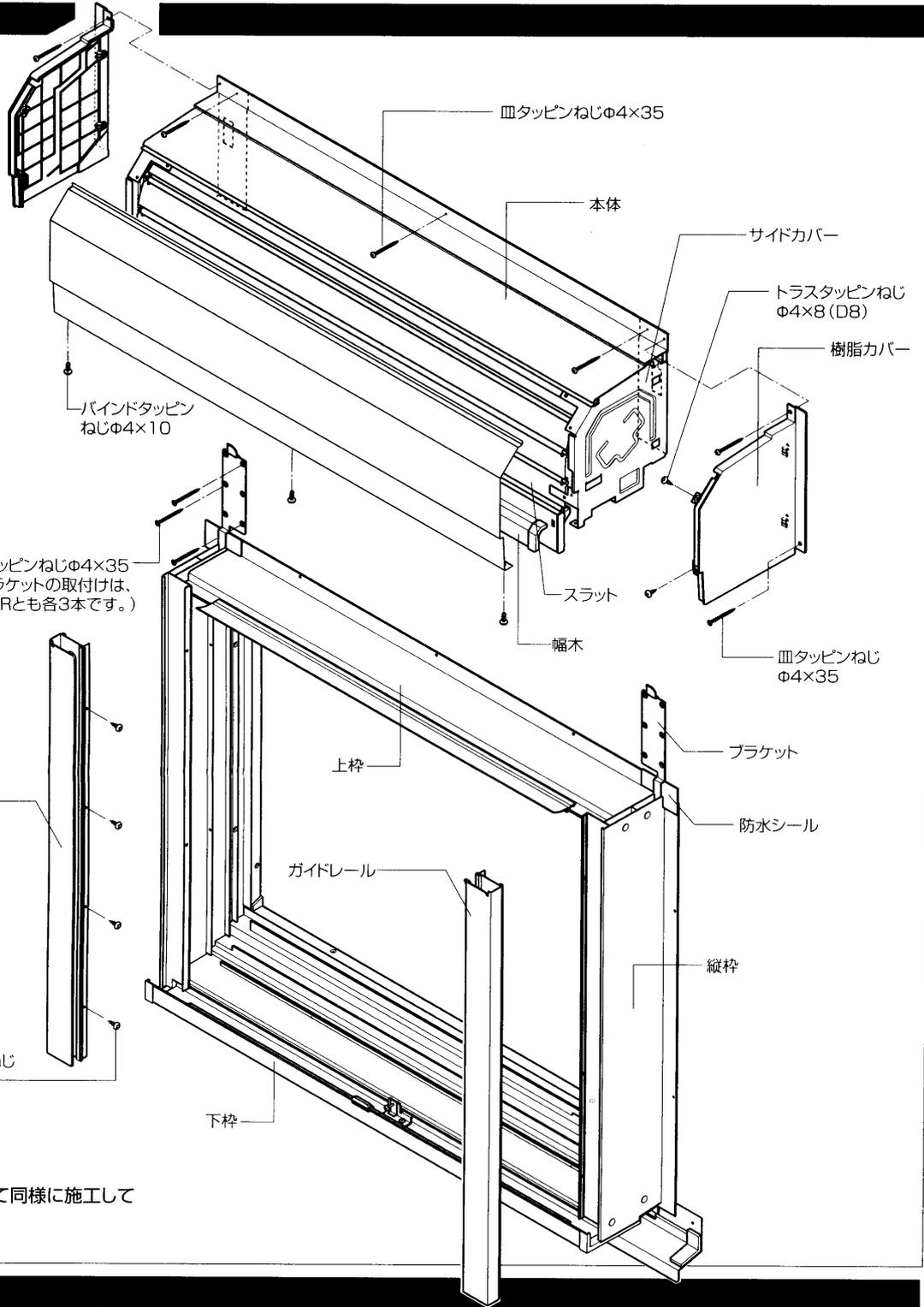
▲注意

●漏水・雨漏れ防止のため、本体に同梱されている防水シールは必ず使用してください。

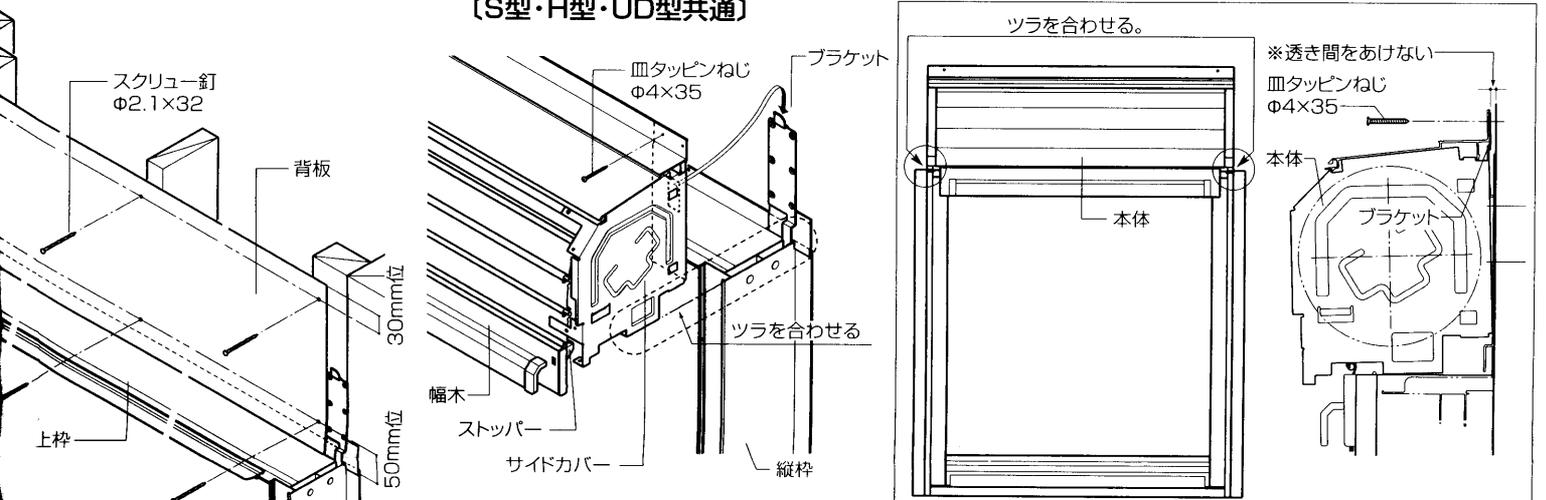
ガイドレール

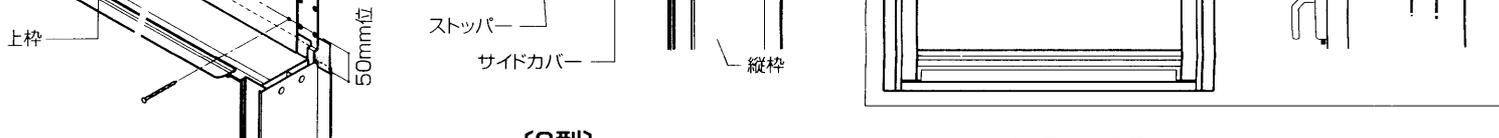
トラスタッピンねじ
φ4×8 (D9.4)

※上図は本体S型です。
本体H型・UD型も本説明書に従って同様に施工してください。



(S型・H型・UD型共通)



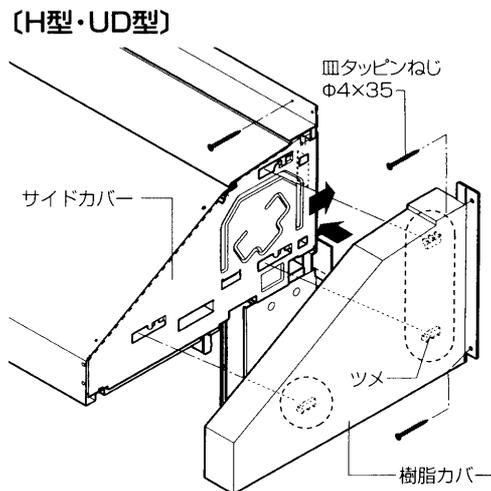
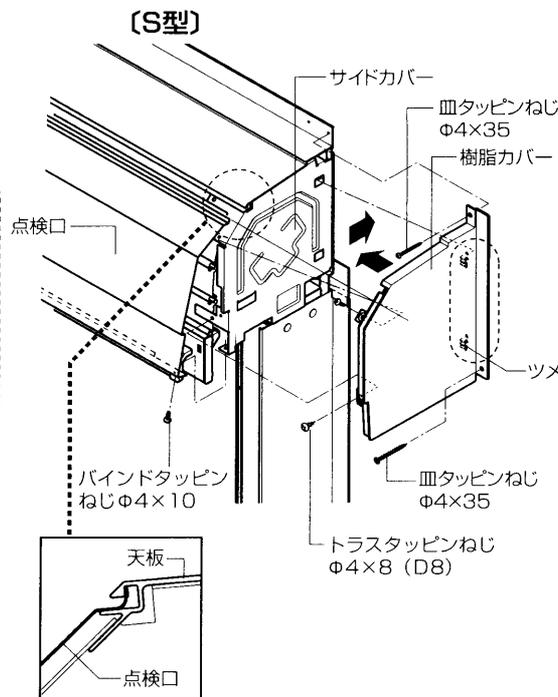


トが片寄り、作動不良の原因になります。
引掛、同時に縦枠の上にのせます。
上にのらないように(上枠の下にくるよ

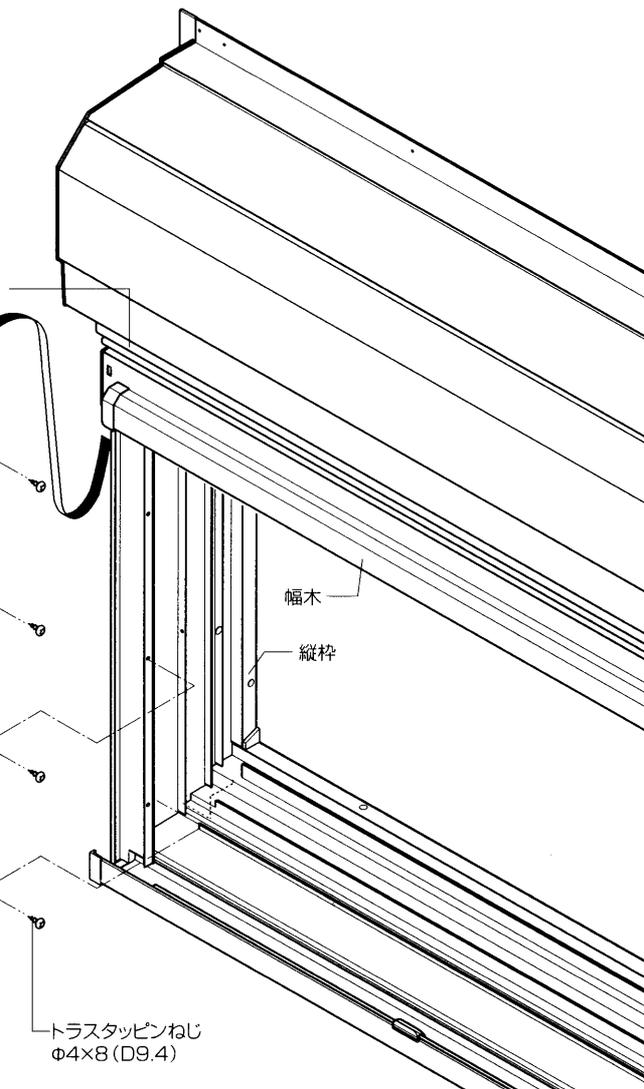
とケガをするおそれがあります。
ください。本体の脱落・作動不良の原因に
ください。きちんと差し込まれていないと

ラケットとの間に透き間ができないように
がないように水糸等で確認してください。
合わせ、全ての突起が穴に合っていること
します。(樹脂カバーが奥まできちんと
い。)

回転させるように取付けねじ止めします。



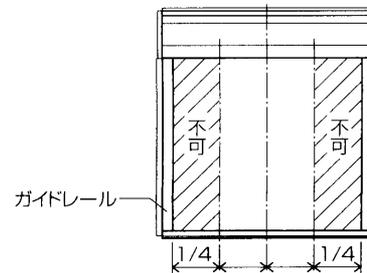
が張ってある方が上側)に幅木を引き込み、そのままガイドレ
の下端が下枠立ち上がりフィンをかえるように内側へ入れます。
ガイドレールをセットしてください。
、タッピンねじで固定します。
毎ガイドレールがあります。本体とガイドレールの注意シールを



5 ロックの確認

使い勝手等のためにロックの位置を変更する場合は、以下の手順で調整してください。

※開口の1/4の距離よりもガイドレール寄りにロックを移動させないでください。幅木の端をもって開閉することにつながり、作動不良の原因になります。



- ①下枠についているロック受けのねじを緩め、任意の位置へスライドさせ、位置が決まったら締め直します。
- ②ロック受けのねじのあとが下枠についているので、補修ペイント(別途手配)で補修してください。
- ③幅木についているロックのカバーをマイナスドライバー等でつめを取り外します。ロックを固定しているねじを緩め、ロックをスライドさせて動かします。
- ④幅木を左右均等の位置にし、ロックを下枠のロック受けの位置へ合わせ、仮止めします。数回ロックの施・解錠をくり返し、作動確認を行います。
- ⑤確認がすんだら、ロックのねじを締め付け、カバーを正面から押し込みます。

